

＜タイプB:「見える化」機能のある商品等は持っていないが構想中のアイデアがある事業者用＞
事業者の提供する商品・サービスに係る温室効果ガス排出量
「見える化」の評価・広報事業
申請書（様式1）作成要領

- ・今回、提案する事業内容を、様式1に記載して下さい。
- ・本申請書に記載すべき項目とその内容は次の通りです。
- ・作成にあたり、次の点に十分ご留意下さい。

- (1) 欄の大きさは変更して構いませんが、全体で8ページ以内にして下さい。
- (2) 文字の大きさは10.5ポイント以上として下さい。
- (3) 日本語で記載して下さい。
- (4) ページ番号を付けて下さい。
- (5) 参考資料の添付は必要最低限にして下さい。

なお、本申請書（様式1）の記載にあたり、原則その内容記載を省略し「別紙参照」、
「別添参照」等とはしないで下さい。

- ・申請書に記載すべき項目とその内容は次の通りです。

＜記載項目と内容＞

○申請者（事業主体）

提案する事業の主体となる組織の名称、申請責任者の役職、氏名を記載して下さい。
また、捺印をして下さい。

○提案事業の名称

提案する事業について、その内容を的確かつ具体的に表現した分かりやすい名称を
付け（40字以内）、これを記載して下さい。

採択された場合には、この名称を公表します。

○提案事業の概要

提案する事業の概要について400字以内で簡潔に記載して下さい。

採択された場合には、この内容を公表します。

○「見える化」システムの概要図（モニタリングシステムを含む）

以下が分かるように、構想中のシステムの概要・仕組み・特徴を具体的に記載してください。

- ・どのような情報をモニタリングし、「見える化」するのか
- ・その情報が「見える化」されることによって、「見た」者にどのような行動変化が期待できるのか
- ・リアルタイムの即時性はどの程度か（秒単位、日単位等）
- ・「見える化」することにどのような意義があるのか
- ・どのような新規性・オリジナリティがあるのか
- ・どのような属性のユーザーが利用する事を期待するか

○想定される温室効果ガス削減効果と削減メカニズム

アイデアを構想中の機器・システムが広く普及することにより期待される温室効果ガス削減効果とその削減メカニズムについて記載してください。

なお、導入対象となり得る国内の施設・設備の量および普及率を仮定して算出してください。また、仮定した量およびその根拠も示してください。

○「見える化」の効果測定方法

アイデアを構想中の機器・システムにより、ある情報が「見える化」されることによって温室効果ガスの排出量がどの程度削減されるのか、その効果を測定するために想定する以下の項目について記載してください。

- ・実験手順
- ・必要な測定データ
- ・効果測定の考え方

○本事業における成果の普及方法、今後の実用化への展開

この事業で得られた成果をどのようにして社会に普及させていくかについて記載してください。例としては、どのようなターゲットに対し普及させていくか等が考えられます。

・本申請書の内容の一部は、本事業専用 Web サイト (<http://rt-mieruka.mri.co.jp/>) に掲載致します。

**事業者の提供する商品・サービスに係る温室効果ガス排出量
「見える化」の評価・広報事業
申請者概要書（様式2）作成要領**

- ・申請者の概要を、様式2に記載して下さい。
- ・申請者概要書に記載すべき項目とその内容は次の通りです。
- ・欄の大きさを変更してもかまいませんが、複数ページにならないようにして下さい。

○応募者の区分

本事業の実施主体の区分について、次のいずれか該当するものに○をつけて下さい。

1. 民間企業
2. 民間法人、特定非営利法人（NPO）
3. 地方公共団体
4. その他

○企業・団体名（代表者氏名）

申請主体（法人・市民団体等）の名称と、その団体の代表者の氏名を記載して下さい。

○所在地

申請主体（法人・市民団体等）の所在地を記載して下さい。

○設立年月

申請主体（法人・市民団体等）の設立年月を記載して下さい。

○人員

申請主体（法人・市民団体等）の人員数を記載して下さい。

○資本金・出資金、基本財産の額

企業：申請する企業の資本金・出資金を記載して下さい。

NPO等の市民団体等企業以外の団体：申請する団体の基本財産を記載して下さい。

○現在の活動内容

申請する法人、団体の主な活動内容をできるだけ具体的に記載して下さい。